

ホントに歩く中山道コラム 第1集～13集、52本（2022年7月現在）

1	三条大橋は世界の駅伝発祥の地	京都三条大橋に駅伝発祥地碑がある。箱根じゃないの？ 日本初の駅伝は、東京奠都50年を記念した京都～上野505kmだった。	三条大橋	第1集
2	歴史的な逢坂山隧道	近江から京都へ入る逢坂山は、等高線密な山岳地帯。明治13（1880）年の東海道線のトンネルは日本人による最初のトンネル。	大津	第1集
3	近江中山道の贅沢な旅	近江の国は日本海と太平洋、東国と西国の中間、いわば日本の真ん中。多くの流入河川により、琵琶湖周辺は肥沃で豊かな土地だ。	近江	第1集
4	皇女和宮は、追分道標を見たか	草津宿は東海道と中山道の分岐点。4mの追分道標がある。文久元年、京を発った皇女和宮はここから中山道で江戸へ向かった。	草津	第1集
5	銅鐸の里、野洲の古代風景	野洲市では新幹線建設中や、山で遊んでいた少年たちが見つけてしまうほど銅鐸が出土。130cm超の日本最大級のものも発見。	野洲市	第2集
6	朝鮮人街道—「信を通わず」使者の道	江戸時代、朝鮮通信使は中山道、東海道を通り江戸へ向かったが、途中、野洲～彦根間の40kmは別の道「朝鮮人街道」を通っていた。	野洲市／ 鳥居本	第2集
7	近江商人と中山道	「三方よし」の理念で日本だけでなく世界でも活躍した近江商人。現在の日本の代表企業も輩出した。なぜ近江？琵琶湖？中山道？	近江	第2集
8	お多賀さんに詣らん！	「♪お伊勢詣らばお多賀へ詣れ」多賀大社は江戸時代の参詣ブームの一つだった。高宮宿は門前町で、中山道に一の鳥居が立つ。	高宮	第2集
9	サンライズ出版、合羽屋と謄写版	サンライズ出版は昭和5年創業。滋賀県の郷土本を多数作る。元は、「木綿屋」という鳥居本宿に十数軒あった合羽屋の一つだ。	鳥居本	第3集
10	「東洋一」の醒井養鱒場	醒井は養鱒所が多く、塩焼き、刺身、フライなど鱒料理店も目につく。中山道は伊吹山地と鈴鹿山地の狭隘部を通るが関連あり？	醒井	第3集
11	壬申の乱と中山道	近江中山道は日本歴史上、二大「天下分け目」の激戦地になった。「壬申の乱」と「関ヶ原の戦い」だ。桃配山は象徴的な場所である。	関ヶ原	第3集
12	関ヶ原。このまち、まるごと、古戦場。	関ヶ原は、駅に降り立ったときから戦闘モード。町に出れば電柱広告が武将の豆知識。レンタサイクルで効率よく、東西陣地巡り。	関ヶ原	第3集
13	皇女和宮の中山道の旅	中山道最大の出来事は和宮の江戸への旅。姫様が通るとあり準備も桁違い。赤坂宿では家建て替えの「嫁入り普請」まで行われた。	赤坂	第4集
14	輪中—豊かな水と水害との闘い	岐阜県南西部は海拔0mの低湿地。だが、木曾三川の土砂が堆積し肥沃な大地に恵まれる。水利の恩恵と水害との戦いの歴史。	美江寺	第4集
15	中山道「国盗り物語」	司馬遼太郎の『国盗り物語』は美濃の斎藤道三、織田信長の物語である。二人の武将が住んだ岐阜城（金華山）からの展望は見事だ。	加納	第4集
16	おもしろうてやがて悲しき 鵜舟かな	長良川鵜飼は、足利義政も観覧し古くから有名。長良川の鮎を使った鮎寿司を将軍家へ献上する「御鮎街道」は5日で江戸に到着。	加納	第4集
17	現役で日本最古の各務原飛行場	各務原台地は保水性に乏しく農地に不向きで人口も少なかった。大正6年、この悪条件と広さにより日本で2番目の飛行場が誕生。	各務原	第5集
18	国宝「犬山城」	犬山城は犬山市にあるが、木曾川対岸の各務原市から犬山城がよく見えるので、各務原の観光名所のようなものだという。	鵜沼	第5集
19	街道から登りたくなる山々	高い所に登ると、眼下の地形が俯瞰できる。坂祝町の城山（猿啄城址）からは木曾川の日本ラインと中山道が一望できる。	坂祝	第5集
20	亜炭と「みたけとんちゃん」	御嵩はかつて亜炭の一大産地で、労働者のソウルフードがホルモン焼きの「とんちゃん」だ。亜炭を輸送したのが今は名鉄広見線。	御嵩	第5集
21	御嵩の隠れ切支丹村	御嵩町に隠れキリシタン村が偶然発見されたのは、昭和56年。町道の拡張工事で、十字架碑が発見されたことがきっかけだった。	御嵩	第6集
22	第6集の中山道の地形的特徴	第6集は東濃（細久手～中津川）を歩く。尾根と沢を横断する中山道。その谷戸に村落があるのを実感できる区間だ。	東濃	第6集
23	恵那の西行伝説を想う	西行は伝説の多い人だ。藤原秀郷の子孫、出家し諸国行脚、平清盛や源頼朝とも面会している。死亡場所も諸説、恵那はその一つ。	恵那	第6集
24	東濃の名物	栗きんとん、五平餅、最近ではカツ丼など、それぞれがバリエーション豊富。海はないが、海草が原料の細寒天は生産量日本一。	東濃	第6集
25	中津川宿と国学	水戸天狗党の通過を助けるなど、中津川は国学門人の地だった。明治になると、廃仏毀釈運動が激しく行われた。	中津川	第7集